

第34回房総ロングハイキングを終えて

日時 2018年1月27日(土)28日(日) 一泊二日

参加会 松戸山の会6、遠足クラブ3、岳人あびこ8、東葛山の会9、かがりび山の会7、こまくさハイキングクラブ11、茂原道標山の会1、市川山の会2、ちば山の会3、君津ケルン山の会4、ふわくハイキングサークル4、計58名

27日(快晴)

東葛地区バス組は「鋸山車力道」を山頂まで往復してから七里川温泉に合流、他会メンバーは思い思いのコースを散策してから、と、直接来て合流しました。到着と同時に互いに持ち寄った干物を炉端焼きして食し、飲み、すでに出来上がった状態です。

15:30 大広間会場に移り、県連会長 広木氏挨拶、乾杯のあと東葛山の会会長 安彦氏の海外登山の講義を聞き、食事、交流を暫くして、最後に海産物3種類の争奪じゃんけん大会で締めくくり、明日に備えて就眠にしました。

28日(晴後曇り小雨)

温泉6:00 皆元気に出発、石尊山、モミ次郎、モミ太郎、辺りまでは順調に進むも、だんだんと残雪などで足を取られて、麻綿原に到着が予定より時間が掛かり、これより先を進むと日没後になってしまう。との判断で残念ながらここでリタイヤして、一杯水林道を清澄寺から駐車場まで歩き終了する事になる。

七里川温泉で報を受け、主人に頼み、急ぎ皆の荷物を積み込み、清澄駐車場に急行、皆と合流其々乗車、解散となった。今年も残念、完登出来なかった。

かく言う肝心な私(桑原)は日頃の行い良くなく、風邪をこじらせてしまい、二日目はダウン、七里川温泉で静養することになり皆様に大変迷惑を掛けて申し訳なく思いました。

ロングハイク行事ではありませんでしたが、28日の東葛地区ハイキングに参加した会員が下山途中に残雪で足を取られて「左足首骨折」で帰った事を後から聞きました。ロングハイク中の事故ではありませんでしたが、リーダー失格と反省しています。

参加者も年々高齢化して歩行も遅くなって来ました。これからのロングハイクの山行コース選定を考慮する時期に来ていると思います。

ハイキング委員会として、検討が必要と感じています。

ハイキング委員長 桑原年一 (記)

桑原ハイキング委員長、風邪で熱がある中ご苦労様でした。

本来であれば、自宅で療養する状態でしたが、ロングハイクへの情熱と責任感で、今回も陣頭指揮を執りました。

ご苦労様でした。(無理はしない、させないで下さい)

——編集者——